

弟に痴漢されています





とても暑い夏の日でした。

カンカン照りの太陽から隠れることも出来ない暑い日でした。

それでも私たちはいつものように手を繋ぎ合わせていました。

どんな事が起きても私たちはずっと一緒。

そう信じていました。





軽く転んだだけ
じゃない

男の子は
こういうので
泣かないの！



え、

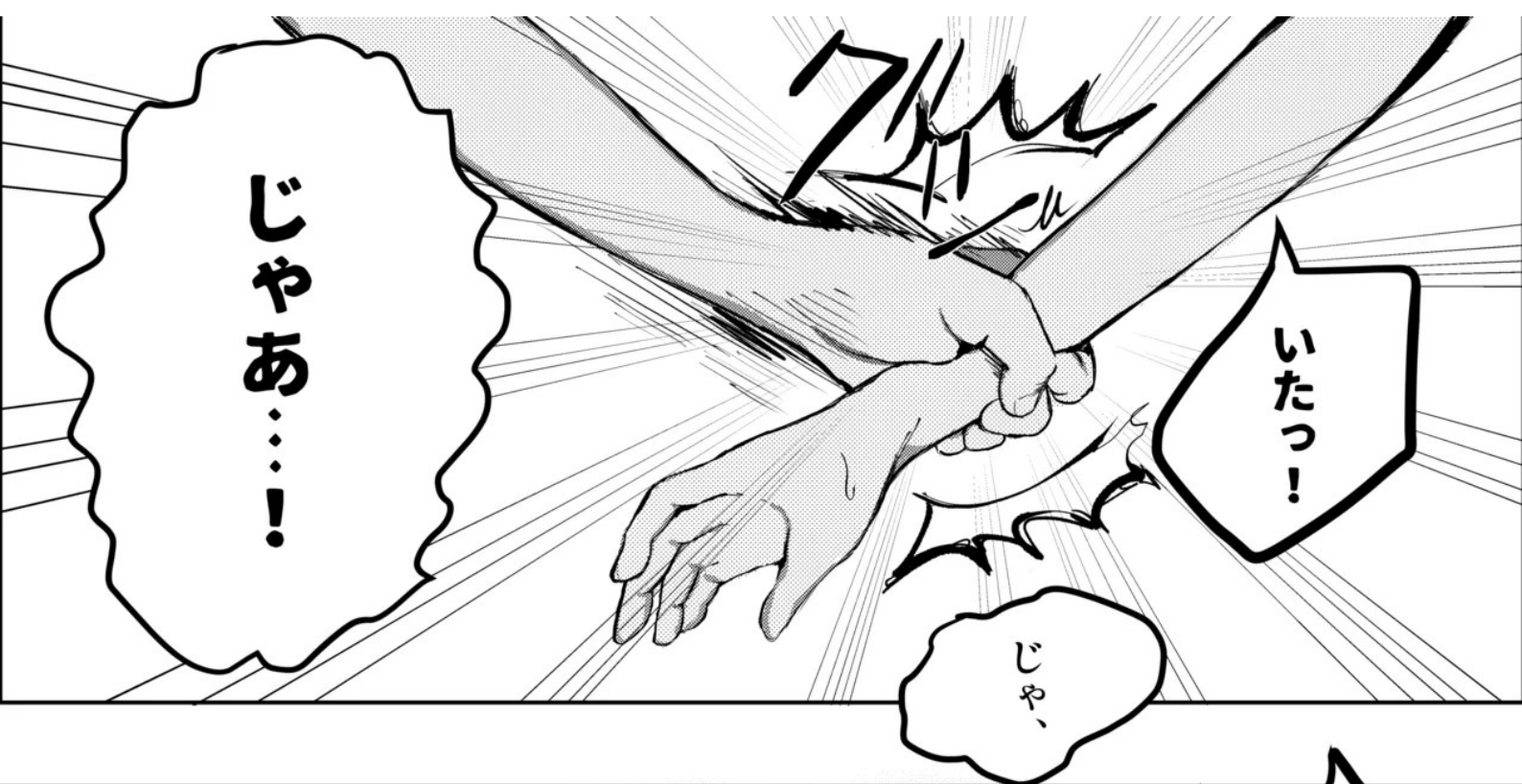
ええ…



泣き虫は女子に
人気ないよ？



ほ、
ほんと？



じゃあ…！

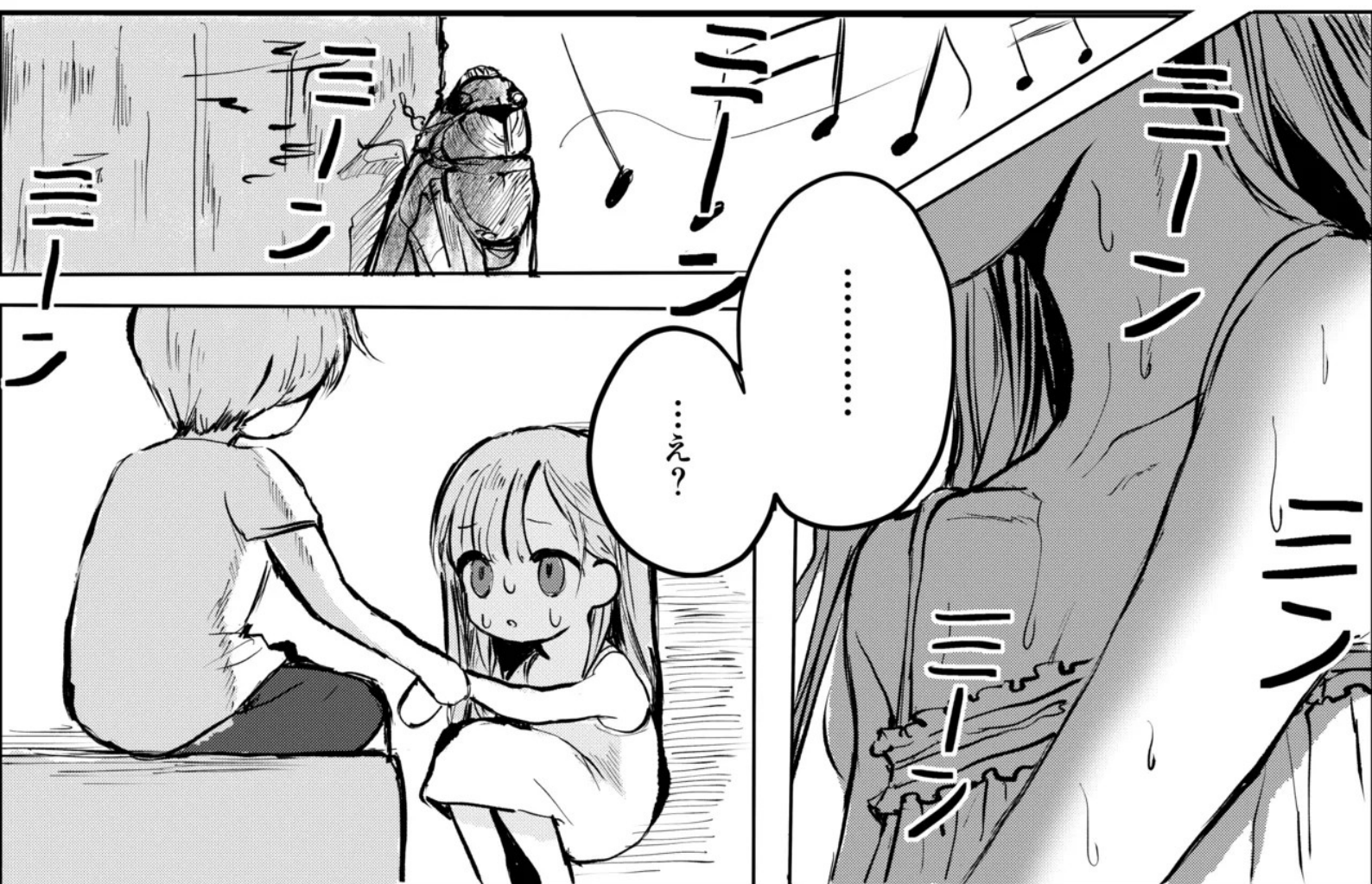
いたっ！

じゃ、



姉さんと

結婚できなく
なる!?





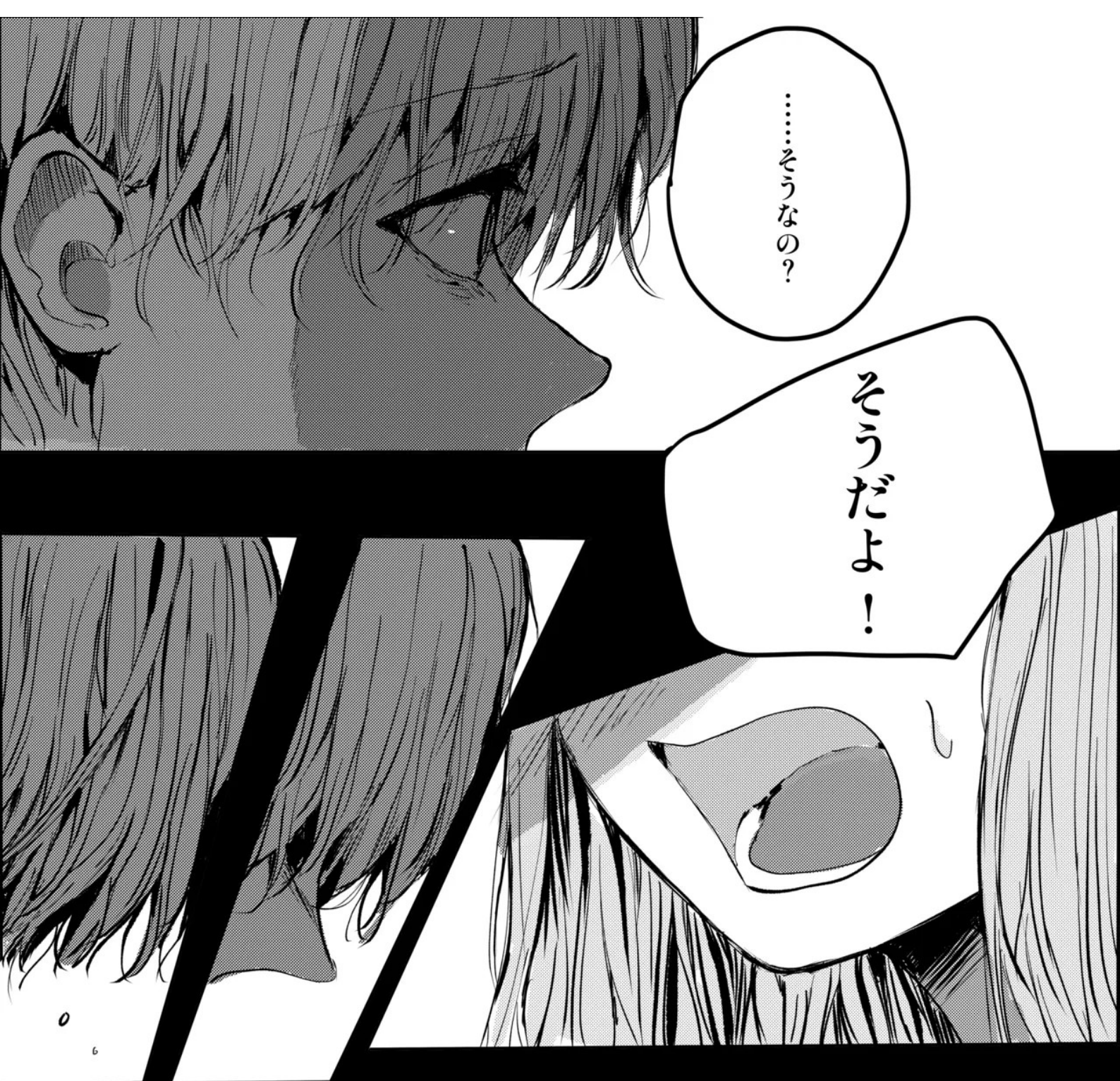
何言っているの？

私と結婚なんて…
そんなの無理に
決まってるでしょ

私たち
家族だもん

気持ち悪い

何でそんな
こと言うの？



.....そうなの？

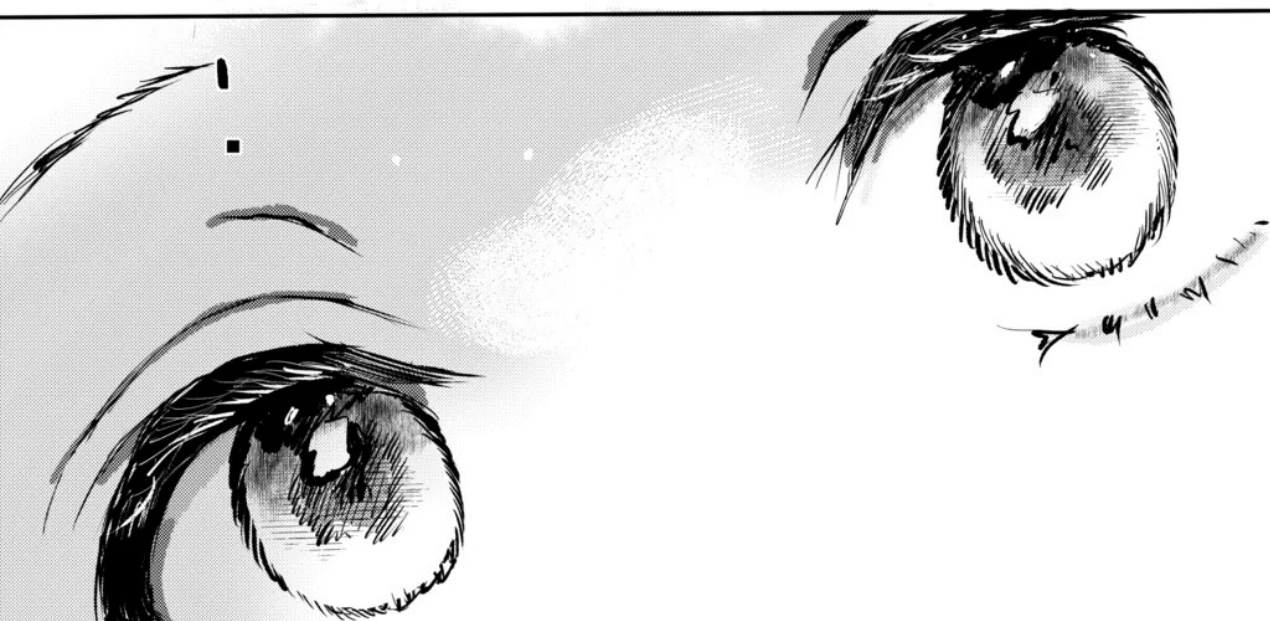
そうだよ！

そうなんだ…
気持ち悪いんだ…

きもち、
わるいんだね…
姉さんは…



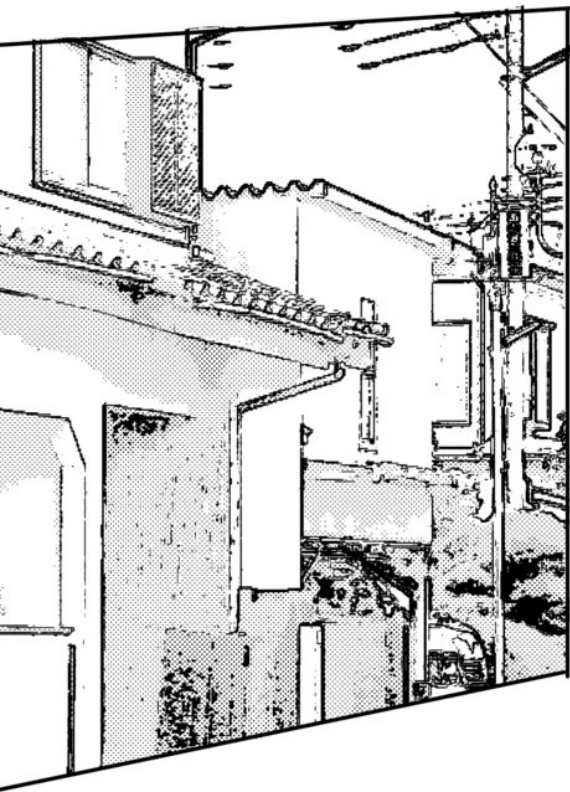
そのおち



悠人はどんな顔をしていたのか……

うまく思い出せない……







気にしないで
ください

自分が好きで
やってる
ことなので…

そんな…

ありがとう
ございます



ではお氣をつけて
また明日

はい
また明日！



なんて優しい
人なんだろう……！

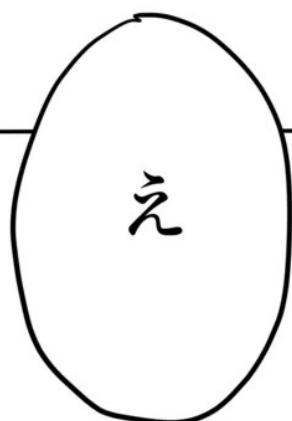
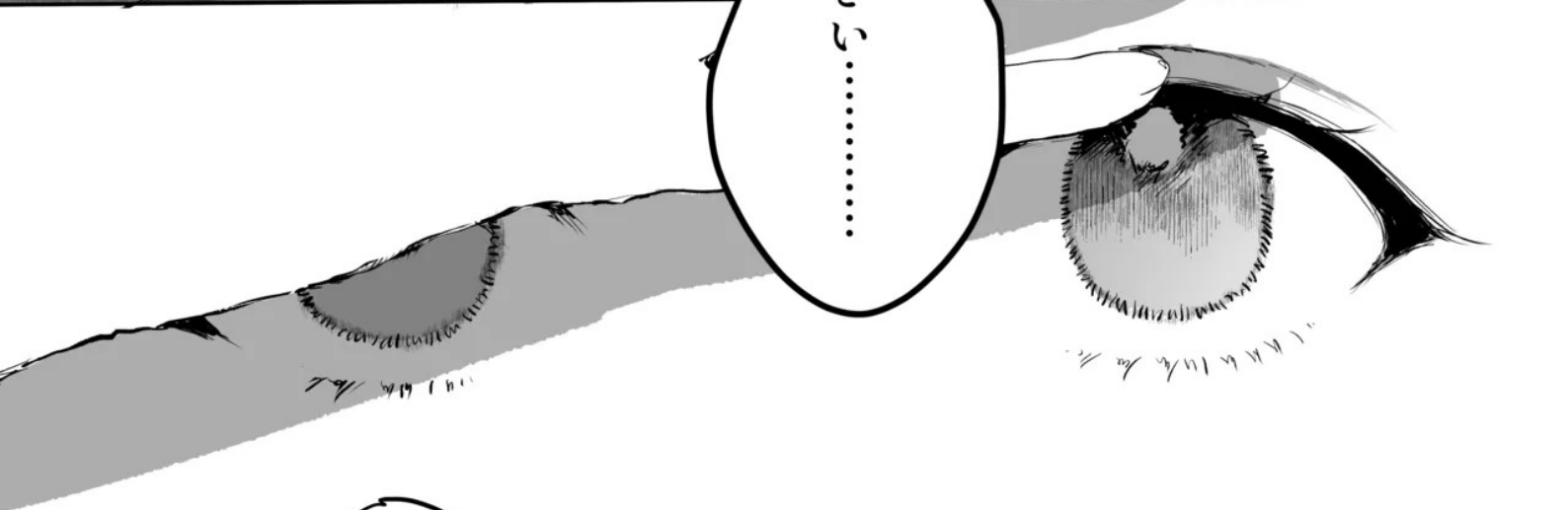


あの人が私の恋人なんて
未だに信じられない……



一日でも早く私も
彼に見合う女になって……







は、悠人…！

いつ来たの？！



久しぶり

姉さん…



さっきの人……

また新しく
できた彼氏？

……えっ！

み、見てたの？

彼氏……
なんだけど……

彼は他と
違うと、
いうか……

いい人だよ

今回は長く
続けそうな……
気がするの……

じゃなくて！

どうでもいい
話は後にして
久々なんだし
他にもっと……

！
！
！



また黙って…
行っちゃった





こんなの…
もう嫌だよ…



「あの日」を境に

私たちの距離は

縮まらない

「あの日」を境に

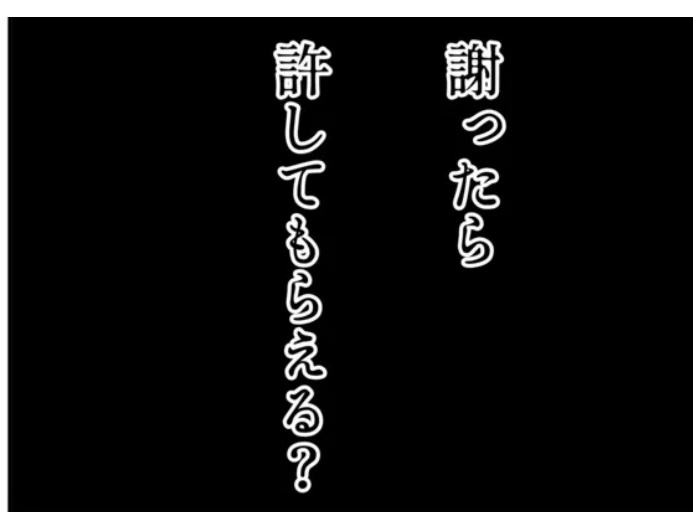
悠人は私を

相手にしてくれない



戻りたい……







結局昨日は一睡も
出来なかった…
一晩中悠人で
頭がいっぱいで……

次に会ったらうまく話を……

そしたらきつと……





ち、
ち、
痴漢！

こんな満員電車で…
信じられない…
どうしてこんな…

どきどき

どきどき

どきどき



う、うそ……ここ電車なのに
他の人もいっぱい……いるのに
こんな場所です……うそ……



こんなところで……！
こんな……
今度は生で触ってる……
ありえない……
お願い……やめて……



でもどうしてだろう……
こんな状況で
おかしいかも
知れないけど……



……え？



は
。。。。
悠人
!?





え…

信じられない…
家族同士でこんなことを…

こんな人混みの中で…
しかも弟の手で…



ズルルル

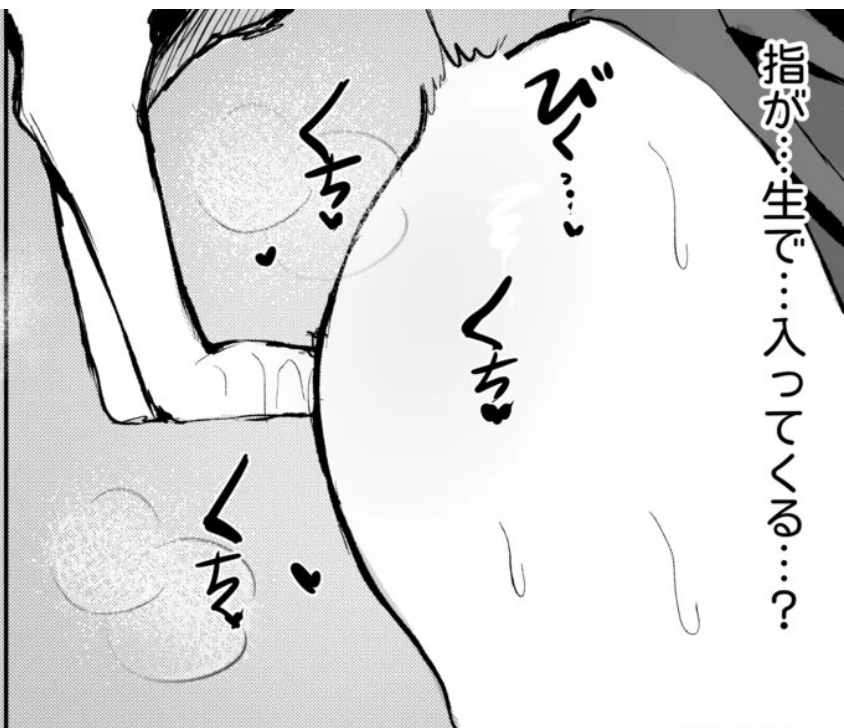


ハッ



クッ

指が…生で…入ってくる…？



悠人…どっいつつもりなの…？



やめて…やめて…やめて…



だめえっ
指をそんなふう
に動かしたるあ…
やばい、やばい…!!
大きい声が出そう
になっちゃった…



あゝ

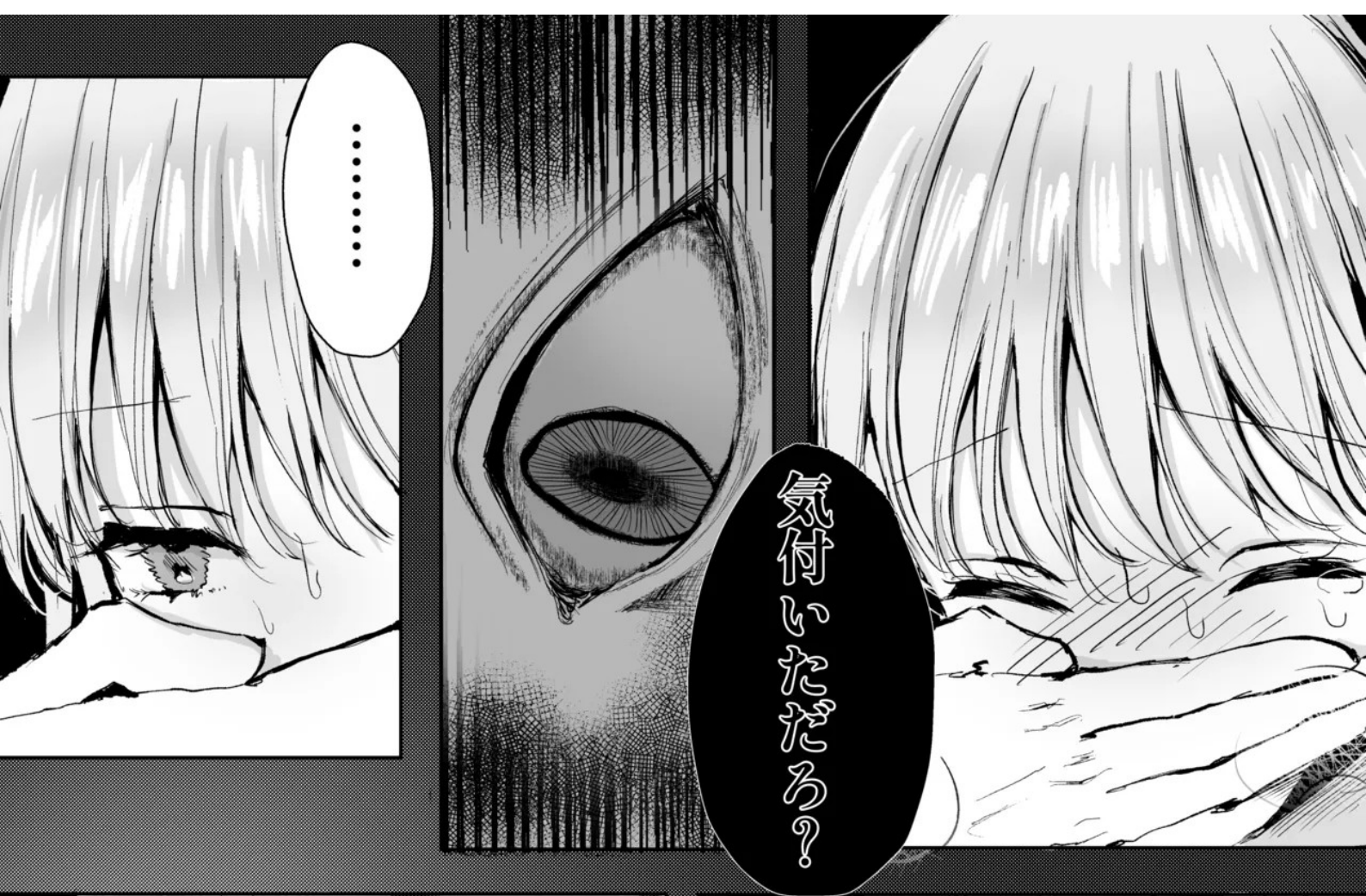
えっ.....





ねえ

俺が誰だか
気づいたでしょ





ふふ…

ふつ…

ふふふ…

ふふふ



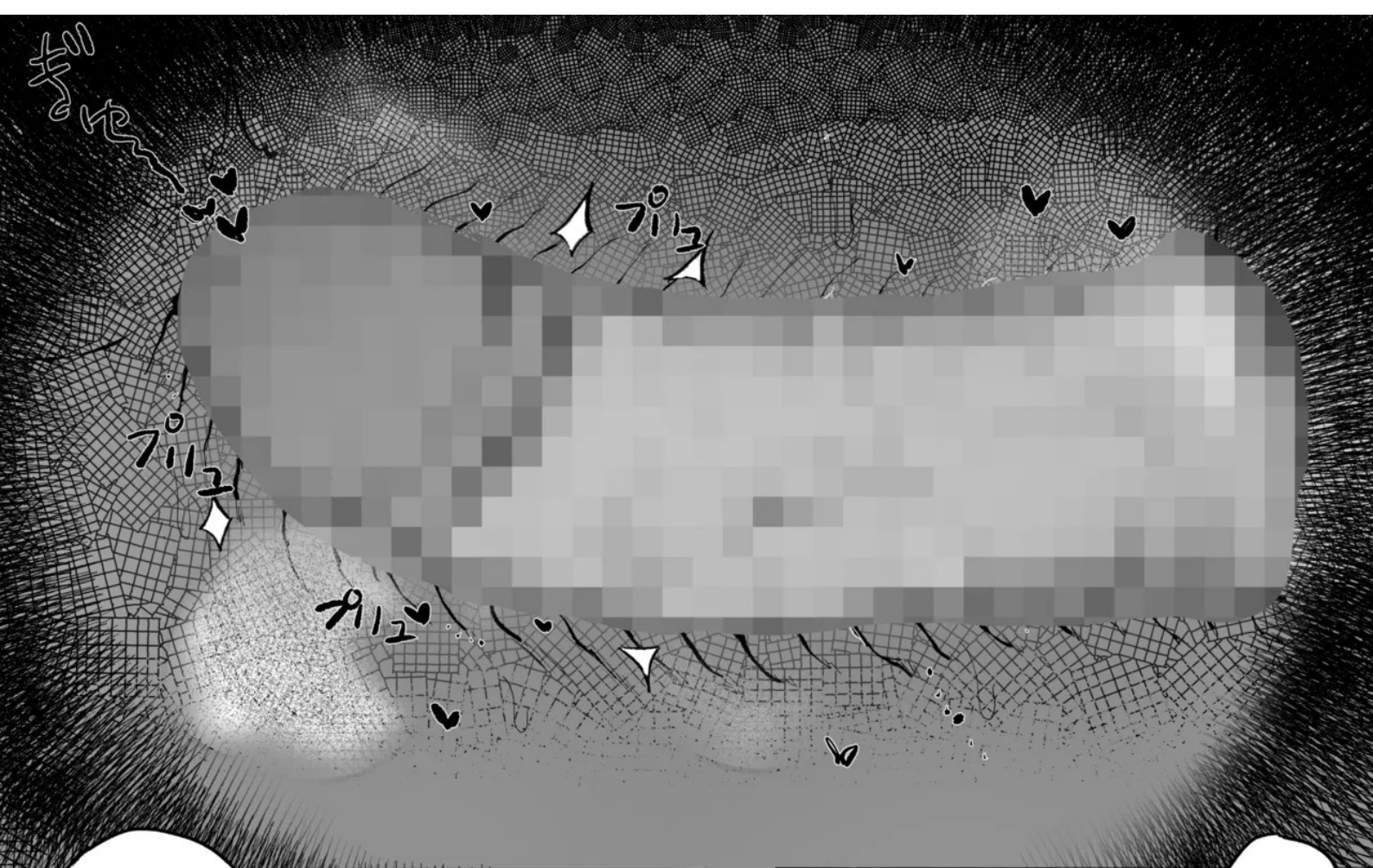
やっと…

俺の名前を
呼んでくれた

嬉しいよ

姉さん





俺がどれだけ
この瞬間を
待ちわびていたか、
わかる？



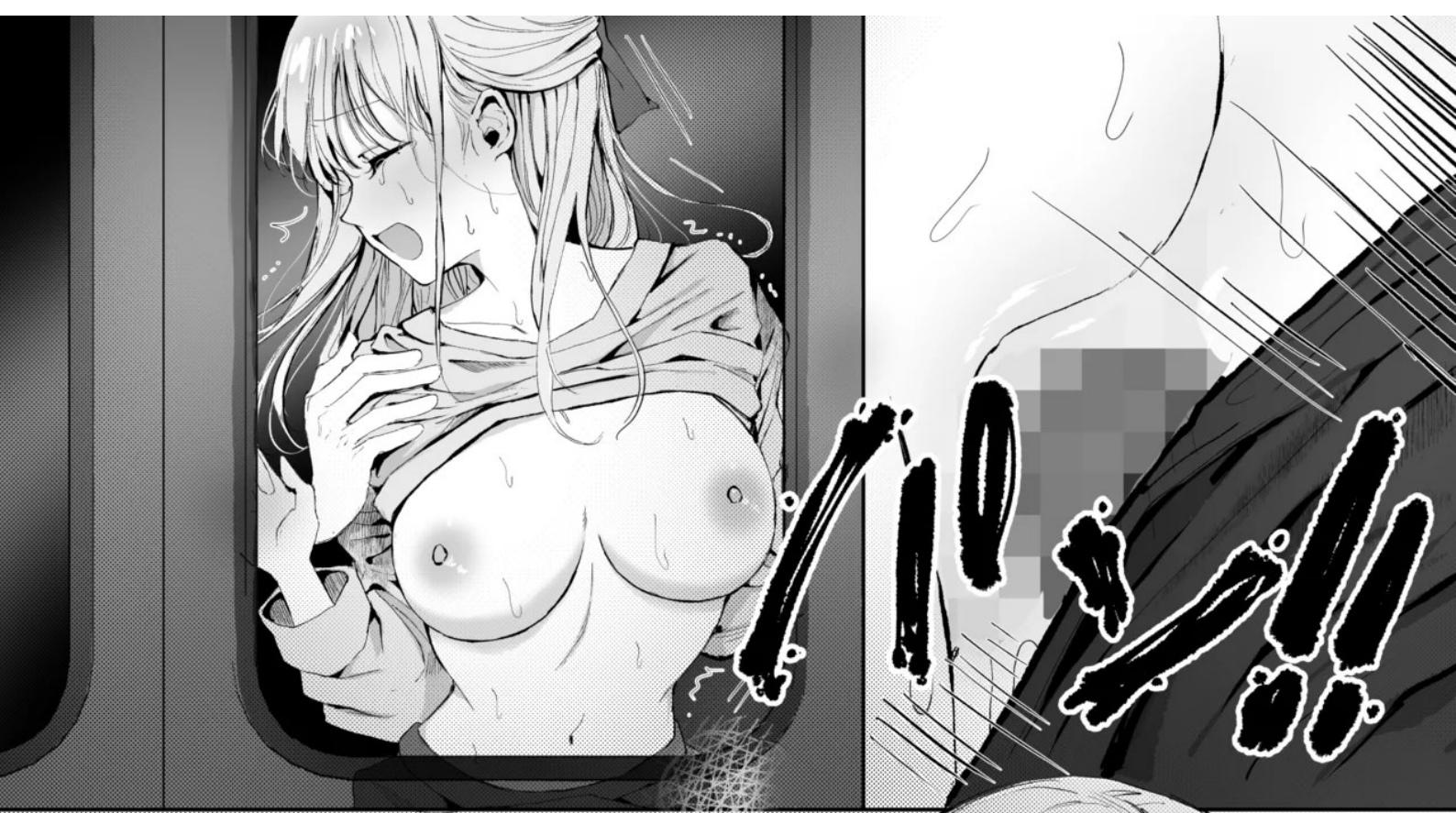
い、やあつ
やめて

ぬいてえ...



あ...ああ...

夢みたいだよ
姉さん...



ありえない...ありえない...
私...
弟と
セックスしてる...
こんなの...
現実じゃない...
悪夢だよ...





もう好きでもない
男どもと付き合うの
やめたら？

辛いだろ

そんなことしたって
姉さんに対する
俺の気持ちは
なくならないよ、
永遠に



.....



知ってたの？

……

……し、



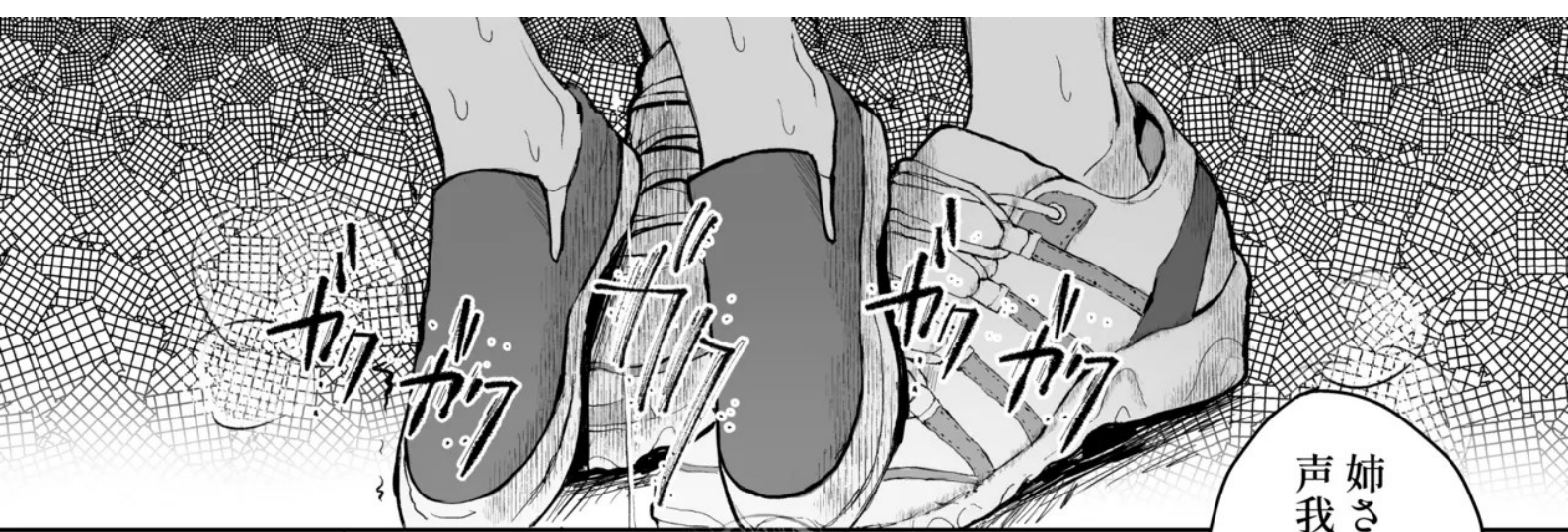
ちゃレ

俺：姉さんのことなら
何でも知ってる

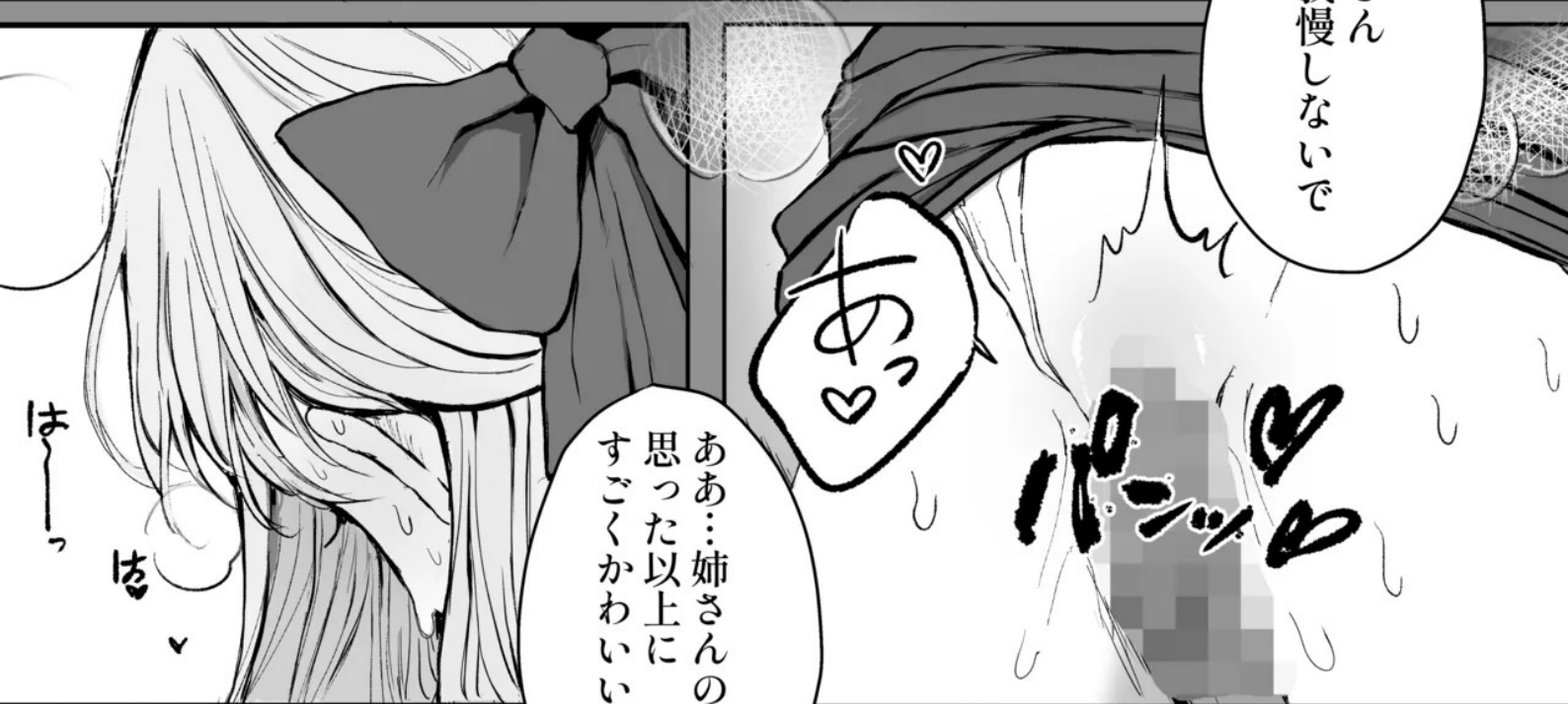


当たり前だろ

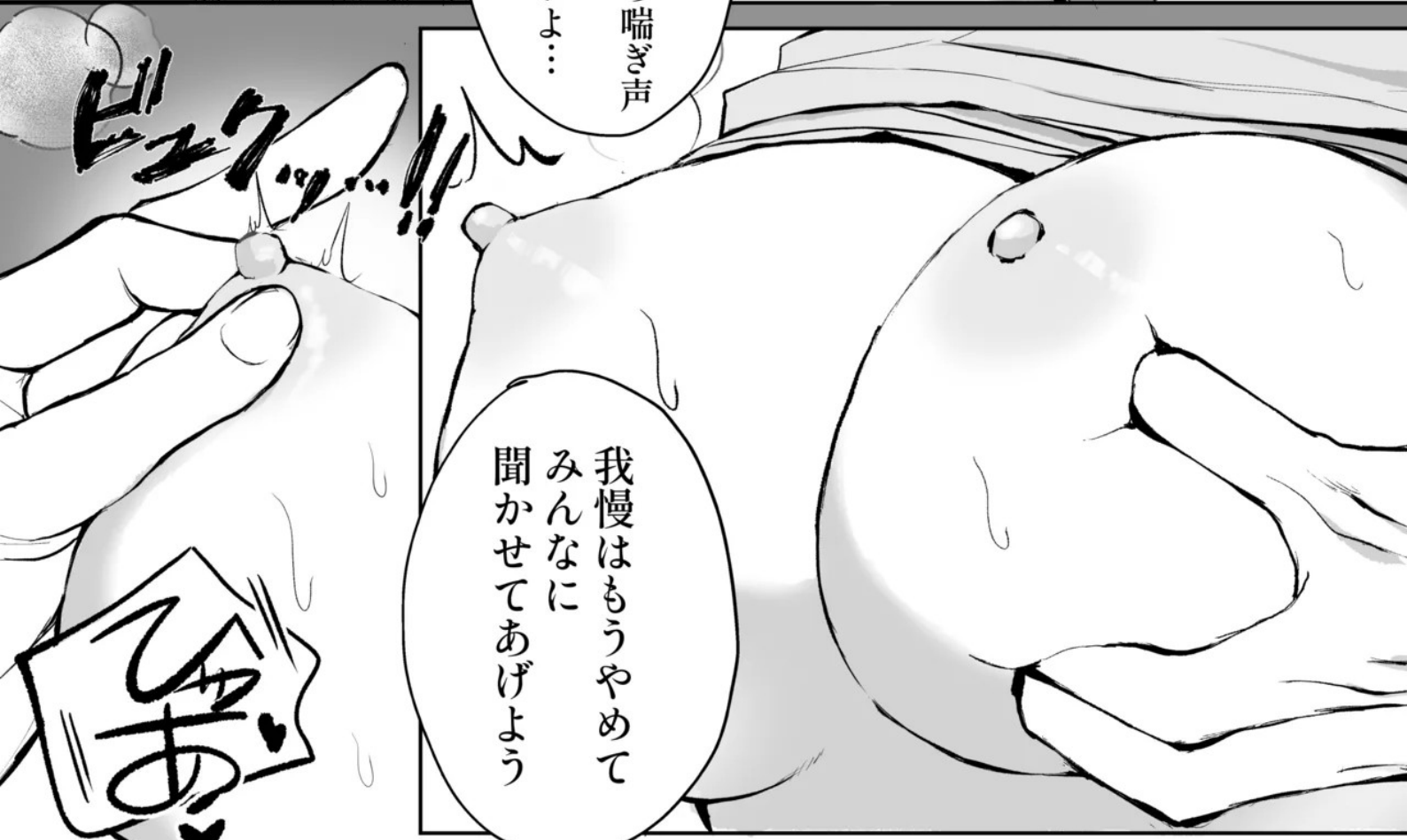




姉さん
声我慢しないで



ああ：姉さんの喘ぎ声
思った以上に
すごくかわいいよ…



我慢はもうやめて
みんなに
聞かせてあげよう

やばい…
もう無理…！
こ、このままじゃ本当に…

弟なのに、弟のモノで…
本当にいっちゃうよ…
おかしい…気分がおかしい
おかしくなっちゃうう





そろそろ出すね…

姉さんの子宮に

俺の精子を
いっぱい…



!?

なにいつているの
私たち家族なのに
そんなことー

ハッ

いやあ...

姉さんこそ
何言っているんだよ

家族のちんこで
こんなやらしい声を

出してゐるくせに

ハッ

ハッ

やばい…ほんとにやばい
わたし…ほんとに弟のちっこで…
いっちゃうう…

は♡

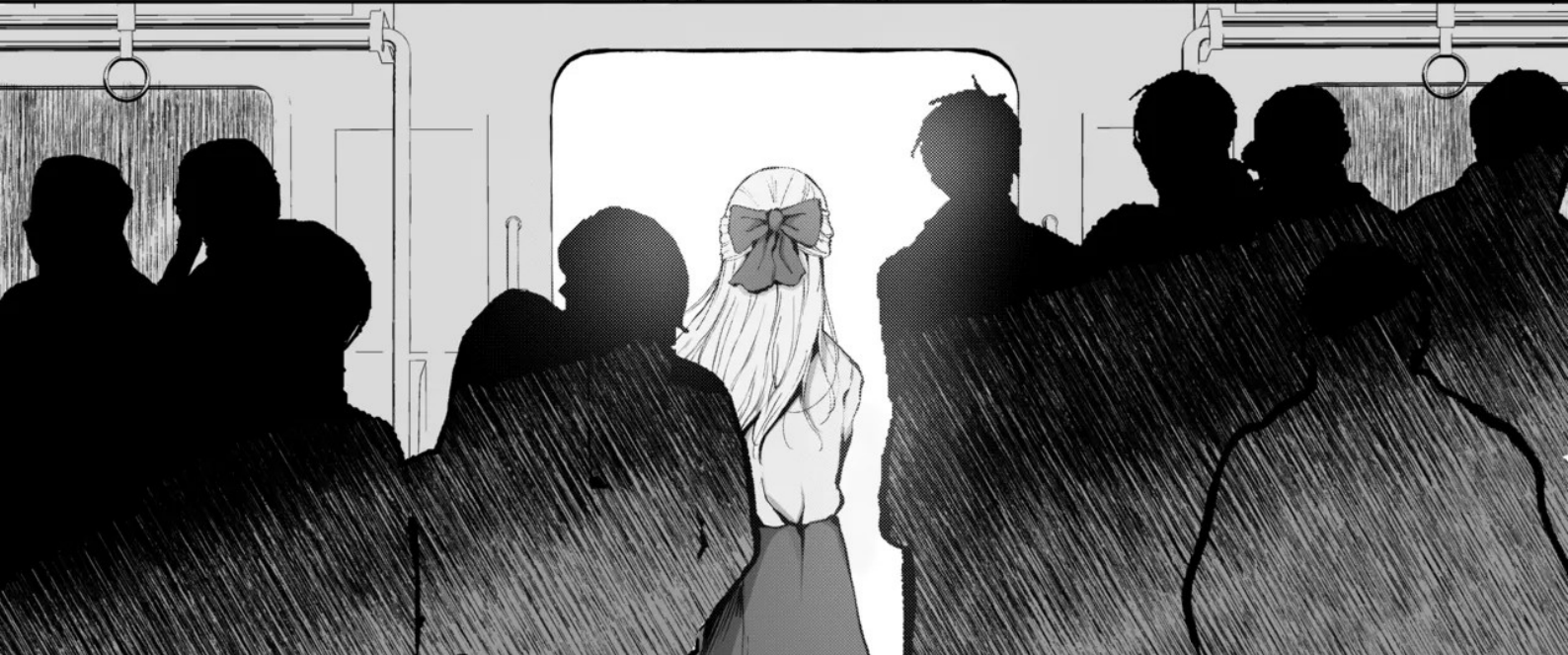
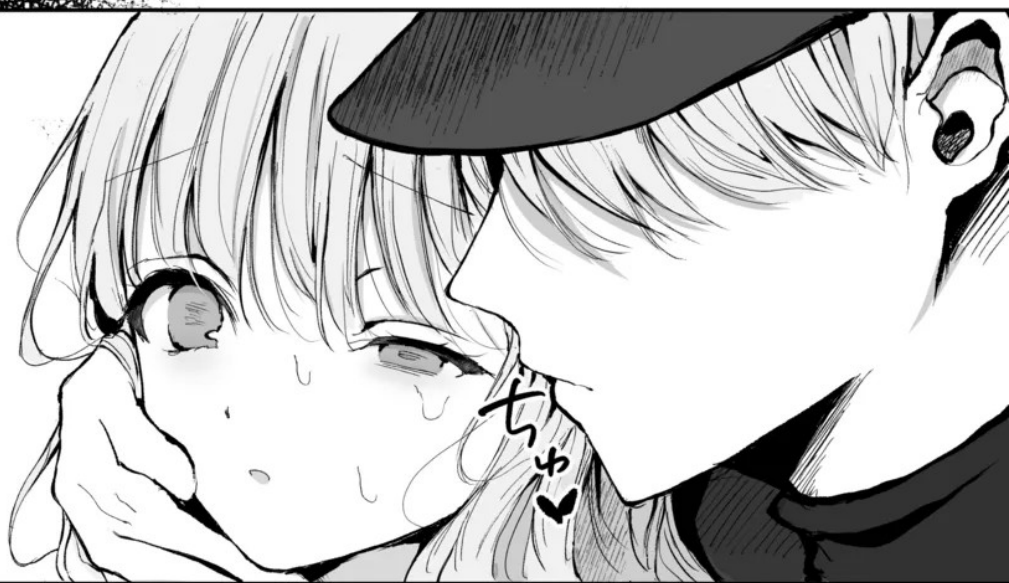
は♡

は♡

ダメなのに…
許されないことなのに…







ドアが閉まります
ご注意ください



知っていたの
本当は知っていた
最初から知っていた





でも怖くて
知らないふりをした
逃げた



いつまでも仲良しの兄弟でいたかったから
いつまでも……悠人の姉さんでいたかったから
永遠に悠人と一緒にいたかったから



けれど……悠人



私って、やっぱり…

姉さん失格だね…

